

一般社団法人 島根県臨床検査技師会
令和4年度
定期総会議案書

目 次

議案

令和3年度経過報告	1
令和3年度決算報告	3
会計監査報告	6
役員を選任	7
名誉会員の選任	7

その他

活動報告	8
令和4年度予算	24
学術部門長・副部門長	25
賛助会員	26



一般社団法人

島根県臨床検査技師会

令和4年5月13日

会員各位

一般社団法人 島根県臨床検査技師会
会 長 錦織 昌明

令和4年度 定期総会について

定款第16条により、令和4年5月29日（日）10時00分より 一般社団法人島根県臨床検査技師会「令和4年度 定期総会」を開催いたします。新型コロナウイルス感染症予防の為 Zoom によるオンライン形式で行いますので、会員各位、多数の出席を要請します。

1. 議 事

- 1) 第1号議案 令和3年度経過報告
 - (1) 総 括
 - (2) 総務部
 - (3) 企画部
 - (4) 学術部
 - (5) 経理部
 - (6) 西部地区
- 2) 第2号議案 令和3年度決算報告
- 3) 第3号議案 会計監査報告
- 4) 第4号議案 役員を選任
- 5) 第5号議案 名誉会員の推薦

2. 報告事項

- 1) 令和4年度予算
- 2) 学術部門長・副部門長

表彰について

例年、日臨技及び島臨技の永年職務精励賞については氏名と施設名を掲載しておりましたが、日臨技が個人情報保護法を遵守して名簿作成を取りやめた事を受け、当会もお名前の掲載を差し控えさせて頂くことにいたしました。何卒ご理解頂きますようお願い申し上げます。

総括

終始新型コロナの顔色を伺いながら、そして不安を抱きながらの活動となった。一方で Zoom を使った研修会・会議など「新しい生活様式」が定着し、運営者も参加者も慣れてきた。移動が不要のため参加者が増える結果となったことはうれしい誤算である。さらに、心配していた第1回目の「タスク・シフト/シェアに関する厚生労働大臣指定講習会」が今年度内に無事開催できたことに安堵している。久しぶりの集合型講習会で皆様にお会いできたことは新鮮であった。精度管理調査事業、各種研修会等々、その他の事業においてもこの状況下で工夫を凝らした活動を展開して頂いた。それぞれの実務者、担当者の皆様には心から感謝を申し上げる。

日臨技はこの数年間の目標として ①「タスク・シフト/シェアに関する厚生労働大臣指定講習会」の開催と受講促進 ②臨地実習指導者の育成促進 ③「品質保証施設認証制度」の拡大を3つの大きな柱と掲げて事業展開をしている。しかし、これらに対応するため各都道府県技師会にかかる負担は益々増加していることも実感している。会員数500余名の当会では、役員・学術部門担当者等々の尽力でなんとか運営できている現状であるが、全会員が参加する意識でさらにご協力をお願いしたい。お隣の鳥取県臨床検査技師会では「1人1役」として県技師会をあげた活動を目標としている。見習うところがあるのではないだろうか。

日臨技の事業方針に則り、中四国支部内の協調をはかりながら、会員のためそして公益性に資するよう島根県臨床検査技師会としての活動を展開していくことを基本とするが、当会の個性的な事業にも期待する。リモート中心で直接話し合うことができない現状ではあるが、技師会活動にさらに関心を寄せて頂き、お互い頼りになる良いチームワークを築いていくことが当会の将来のために重要であると思う。

総務部

令和3年度の定期総会を Zoom による Web 方式で開催した。今総会では、会員から多数の意見をいただき「令和2年度経過報告」「令和2年度決算報告」「会計監査報告」について審議、承認を得て可決された。いただいたご意見を参考にし、今後の活動を行っていく旨を回答した。

依然としてコロナ禍にあり、集合形式での行事開催はリスクを考慮し、新人研修会、島臨技新年賀会の開催を見送った。一方で、タスク・シフト指定講習会の県内開催にむけて会員に情報を発信すべく、Web 方式での施設代表者会議を企画開催した。会議では、多くの施設からの参加を得られ、タスク・シフト指定講習会についてのみならず、島臨技理事改選・学術部門員改選、技師連盟への加入推奨、島根医学検査学会開催についてなど多数の案件について各施設と情報を共有することができたと考えている。

広報では、島臨技ニュース No.162、No.163 の2号を発行した。昨年度同様、発行回数は減ってしまったが、会員紹介や賛助会員紹介、またおすすめスポット紹介などもあり、日々多忙を極める皆様にとって少しでも安らげる時間を提供できていれば幸いである。

企画部

今年度の「検査と健康展」は当会理事会にて勘案し、コロナ感染拡大防止の観点から開催は見

合わせる事とした。新年度は今後の動向などを参考にしながら「新しい生活様式」の下で開催出来る事を期待したい。

また令和 3 年度年度から始まった「タクス・シフト/シェアに関する厚生労働大臣指定講習会」に企画部としても参加し、無事に第 1 回を開催する事が出来た。

学術部

コロナ禍における学術活動 2 年目であった。オンライン研修会も慣れてきたようで、研修会開催数は昨年度より増加していた。また今年度も遠方でも参加し易いためか参加者は通常より多かったが、今後もオンライン研修会が続くこと、県外者の参加も多いことから、参加型にするなどクオリティーの高い内容が求められると考える。オンラインを有効に活用し、会員の皆様のスキルアップに役立てられる研修会にしていきたい。

精度管理事業については、日臨技の精度管理システムの利用により効率的に行えたが、報告書の内容確認不足から内容にやや不備が見られ、皆様にご迷惑をおかけしたことは心よりお詫び申し上げます。精度管理報告会は、皆様のご協力により無事にオンライン開催する事ができ、多くの会員の皆様の参加をいただいた。今後は報告だけで終わらず、精度管理に問題のある施設に対し、いかにフォローするかを考えていく必要がある。

島根県医学検査学会については、皆様のご協力のおかげで今年度は開催でき、8 題の発表となったことは喜ばしかった。発表施設に偏りが見られたが、オンライン開催の強みを活かし、来年度は島根県全域からの発表を期待したい。

「島根医学検査 Vol.50」を発刊予定であるが、学会が Web 参加となり、発表者が減少傾向にある中、投稿して頂いた皆様へ感謝申し上げます。今後も多くの会員の皆様の投稿を期待する。

経理部

「コロナだから出来ない」ではなく「コロナだからどのようにして行うか」を考えながら、共存を模索する 1 年であった。学術部門長、副部門長の方々のご尽力のお陰で、オンラインでの研修会開催数もコロナ前と同等レベルまで戻った。また JAMT を使用しての事前参加システムを使用するため県外参加者も増え、参加費を徴収しなくても会の運営に影響を及ぼす事無く開催出来るという事がわかったのも収穫であった。

収入に関しては、昨年度の活動の縮小を反映して一時的に会費を 7,000 円から 4,000 円に減額したが、資産の大幅な減額はせずに済んだ。活発な活動再開に向けて、安定して新年度に引き継ぐことができた。

最後に、当会運営にご協力いただいた企業の皆様、関係者の皆様へ感謝し、心より御礼申し上げます。

西部地区

令和 4 年 4 月 10 日(日)に第 9 回島根県医学検査学会を Zoom による Web 方式で開催した。参加者 123 名と多数の参加者を得て、盛会裏のうちに終了することが出来た。準備に難航したが、多くの方の助言と支えをいただき無事終了できた事を感謝申し上げます。

今後は色々な学会形式を模索しながら次回に繋げていきたい。

【第2号議案】

令和3年度 一般会計決算

自 令和3年4月1日

至 令和4年3月31日

取 入 の 部

款	項	目	令 和 3 年 度 予 算 額	令 和 3 年 度 決 算 額	増 減	備 考
会 費 取 入			2,660,000	2,644,000	△ 16,000	
	会 費 取 入	会 員 会 費	1,800,000	1,824,000	24,000	4000×456名
		賛 助 会 員 会 費	860,000	820,000	△ 40,000	41社
事 業 取 入			630,000	1,072,800	442,800	
	事 業 取 入	広 告 取 入	250,000	190,000	△ 60,000	島根医学検査、HP
		研 修 会 参 加 費	0	0	0	
		精 度 管 理 参 加 費	230,000	223,000	△ 7,000	39施設
		助 成 金	150,000	659,800	509,800	日臨技助成金
雑 取 入	雑 取 入	雑 取 入	10,000	15,889	5,889	預金利息、文献使用料
繰 越 取 入	繰 越 取 入	前 年 度 繰 越 金	5,000,000	5,092,770	92,770	
取 入 合 計			8,300,000	8,825,459	525,459	

支 出 の 部

款	項	目	令 和 3 年 度 予 算 額	令 和 3 年 度 決 算 額	増 減	備 考
事 務 費			3,360,000	2,383,942	△ 976,058	
	庶 務 費		2,380,000	1,848,444	△ 531,556	
		役 員 報 酬	300,000	282,000	△ 18,000	
		人 件 費	1,200,000	1,132,686	△ 67,314	事務職員人件費
		消 耗 品 費	300,000	43,523	△ 256,477	ラベル、封筒、コピー用紙他
		通 信 費	300,000	130,876	△ 169,124	電話、インターネット、切手他
		備 品 費	230,000	219,120	△ 10,880	コピー機リース料
		管 理 諸 費	50,000	40,239	△ 9,761	支払い手数料、各種契約料
	会 議 費		430,000	42,048	△ 387,952	
		会 議 費	30,000	31,688	1,688	タスクシフト、臨地実習
		旅 費 交 通 費	400,000	10,360	△ 389,640	
	事 務 所 費	事 務 所 費	500,000	451,492	△ 48,508	事務所家賃、光熱水道費
	雑 費	雑 費	50,000	41,958	△ 8,042	
事 業 費			3,090,000	1,787,962	△ 1,302,038	
	総 会 費	総 会 費	140,000	114,860	△ 25,140	議案書他
	精 度 管 理 費	精 度 管 理 費	700,000	659,727	△ 40,273	試料代、発送料、実務委員日当
	学 術 活 動 費		1,000,000	562,207	△ 437,793	
		学 術 活 動 費	600,000	141,127	△ 458,873	研修会、県学会
		会 誌	350,000	421,080	71,080	島根医学検査
	広 報 活 動 費		850,000	354,434	△ 495,566	
		島 臨 技 ニ ュ ー ス	400,000	246,254	△ 153,746	年2回発行
		広 報 活 動 費	150,000	108,180	△ 41,820	HPリニューアル、維持管理
		地 域 活 動 費	300,000	0	△ 300,000	
	組 織 強 化 費		400,000	96,734	△ 303,266	
		厚 生 費	300,000	36,734	△ 263,266	会員慶弔費
		組 織 強 化 費	100,000	60,000	△ 40,000	
予 備 費	予 備 費	予 備 費	400,000	0	△ 400,000	
支 出 合 計			6,850,000	4,171,904	△ 2,678,096	

区 分	令 和 3 年 度 予 算 額	令 和 3 年 度 決 算 額	増 減	備 考
取 入 額	8,300,000	8,825,459	525,459	
支 出 額	6,850,000	4,171,904	△ 2,678,096	
差 引 額	1,450,000	4,653,555	3,203,555	

貸借対照表

令和4年3月31日現在

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増減
I 資産の部			
1.流動資産			
現金預金	4,653,555	6,772,770	△ 2,119,215
流動資産合計	4,653,555	6,772,770	△ 2,119,215
2.固定資産			
(1)特定資産			
学会準備積立資産	1,000,000	1,000,000	0
特定資産合計	1,000,000	1,000,000	0
固定資産合計	1,000,000	1,000,000	0
資産合計	5,653,555	7,772,770	△ 2,119,215
II 負債の部			
1.流動負債			
前受金	0	1,680,000	△ 1,680,000
流動負債合計	0	1,680,000	△ 1,680,000
負債合計	0	1,680,000	△ 1,680,000
III 正味財産の部			
1.指定正味財産	0	0	0
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	(0)
(うち特定財産への充当額)	(0)	(0)	(0)
2.一般正味財産	5,653,555	6,092,770	△ 439,215
(うち基本財産への充当額)			(0)
(うち特定財産への充当額)	(1,000,000)	(1,000,000)	(0)
正味財産合計	5,653,555	6,092,770	△ 439,215
負債及び正味財産合計	5,653,555	7,772,770	△ 2,119,215

正味財産増減計算書

令和3年4月1日から令和4年3月31日まで

(単位:円)

科目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
(1) 経常収益			
受取会費	(2,644,000)	(3,935,000)	(△ 1,291,000)
会費(正会員)	1,824,000	3,115,000	△ 1,291,000
会費(賛助会員)	820,000	820,000	0
事業収益	(413,000)	(458,000)	(△ 45,000)
広告収入	190,000	235,000	△ 45,000
研修会参加費	0	0	0
精度管理参加費	223,000	223,000	0
受取補助金等	(659,800)	(223,940)	(435,860)
補助金等	659,800	223,940	435,860
その他収益	(15,889)	(10,491)	(5,398)
受取利息	55	51	4
雑収入	15,834	10,440	5,394
経常収益計	3,732,689	4,627,431	△ 894,742
(2) 経常費用			
庶務費	(2,383,942)	(2,459,703)	(△ 75,761)
役員報酬	282,000	282,000	0
人件費	1,132,686	1,050,035	82,651
消耗品費	43,523	166,904	△ 123,381
通信費	130,876	209,131	△ 78,255
備品費	219,120	163,296	55,824
管理諸費	40,239	102,241	△ 62,002
会議費	31,688	894	30,794
旅費交通費	10,360	6,400	3,960
事務所費	451,492	448,802	2,690
雑費	41,958	30,000	11,958
事業費	(1,787,962)	(1,388,102)	(399,860)
総会費	114,860	121,000	△ 6,140
精度管理費	659,727	640,515	19,212
学術活動費	141,127	34,733	106,394
会誌	421,080	265,160	155,920
島臨技ニュース	246,254	150,414	95,840
広報活動費	108,180	115,553	△ 7,373
地域活動費	0	0	0
厚生費	36,734	38,727	△ 1,993
組織強化費	60,000	22,000	38,000
予備費	0	0	0
経常費用計	4,171,904	3,847,805	324,099
当期経常増減額	△ 439,215	779,626	△ 1,218,841
当期一般正味財産増減額	△ 439,215	779,626	△ 1,218,841
一般正味財産期首残高	6,092,770	5,313,144	779,626
一般正味財産期末残高	5,653,555	6,092,770	△ 439,215
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	5,653,555	6,092,770	△ 439,215

【第 3 号議案】

監査報告書

【第4号議案】

役員を選任

理事	青戸	正樹	松江赤十字病院
理事	赤沼	佳子	島根県立中央病院
理事	吾郷	春奈	町立奥出雲病院
理事	荒木	剛	島根大学医学部附属病院
理事	石川	理恵	松江生協病院
理事	石倉	陽子	玉造病院
理事	高野	智晴	松江赤十字病院
理事	杉原	辰哉	松江市立病院
理事	角	久美子	J A島根厚生連
理事	陶山	すみこ	松江記念病院
理事	野津	礼子	大田市立病院
理事	藤原	誠	雲南市立病院
理事	吉岡	豊道	益田赤十字病院
理事	吉田	寛幸	出雲市民病院
理事	領家	敬子	島根県立中央病院
監事	矢田谷	浩一	島根県立中央病院メディエンス検査室
監事	和田	和美	ヘルスサイエンスセンター島根

【第5号議案】

名誉会員の推薦

一般社団法人島根県臨床検査技師会表彰規定に則り下記の者が推薦された

北尾 政光 氏

- ・昭和57年～ システム研究班 班長等
- ・第25回、34回 中四国支部医学検査学会 経理局長
- ・第55回 日本医学検査学会 事務局長
- ・平成24～27年 島臨技 副会長
- ・平成27～29年 島臨技 会長

専門別活動報告

1 総務部

1) 諸会議

(1) 定期総会 令和3年6月13日(日) Zoomによるオンライン開催

- ・令和2年度 経過報告
- ・令和2年度 決算報告
- ・会計監査報告

出席会員数 336名(委任状228名含む) (会員総数449名)

(2) 理事会

第1回 令和3年6月13日(日) Zoomによるオンライン開催

報告事項

《総務》

- ・会員の動向 449名(入会14名) 令和3年6月11日現在

《企画》

- ・検査と健康展 日臨技は開催の意向なので予算書を一応提出
- ・内容については未定

《学術》

【研修会】

- ・8月1日(日) 生物化学分析部門研修会開催予定

《西部》

- ・浜田市健康福祉フェスティバルは開催の方向で準備中
開催するのであれば、規模を縮小して11月頃に開催(8月に開催の有無を決定)

審議事項

1. 「タスク・シフト/シェアに関する厚生労働大臣指定講習会」について 承認

- ・今後の予定

8月 岡山で支部実務者講習会(島根県から実務委員6名、運営責任者1名)

- ・実務委員の選出(6名): 島根開催時の企画運営役員
領家副会長(リーダー)、赤沼総務部長、石川企画部長、青戸経理部長
杉原理事、藤原理事(まずは東部での開催を見込んで、東部の理事を実務委員とする)
運営責任者 高野事務局長(講師依頼、会場確保、企画申請、機材管理等)
総責任者 錦織会長(日臨技との連絡・交渉等)
実務者講習までに基礎講習(700分)を受講しておく必要あり
→実務者講習を受講することで指定講習会受講終了扱いとなる
島根開催時に他の理事にも引継ぎ、今後の講習会の実務委員となっていたきたい
今回選出のメンバーには当面継続して実務委員を担っていただきたい(案)
- ・質問: 他県の技師でも島根開催講習会に参加できるか? →現状ではできない。

2. 「臨地実習指導者講習会」について 承認

- ・令和3年度は広島県で開催予定(来年度以降 香川→岡山 で確認中)
- ・ファシリテーターの選出(1名)
荒木副会長あるいは島根大学附属病院検査部の方(実習受け入れ施設から選出)

3. 検査と健康展開催について 要検討

石川企画部長: 日臨技は開催の方向で・・・とのことで企画書・予算書を提出した

規模、開催の有無の判断など詳細をどのようにしたらよいか？

錦織会長： 日臨技がやるということであればやらないといけませんが、
状況がまだわからないので様子見しかない

領家副会長： 要綱に縛りがなければ、屋外開催も考えては？

とりあえず、今までの会場（イオンモール）に受け入れ可否の確認は必要
入場の予約・制限も必要かもしれない

その他

・ 技師連盟加入について

昨年の加入率： 島根県目標 53 口に対して 32 口（55%）の加入実績

今年度も各施設で加入の推奨をお願いする

・ 島臨技ニュースの紙発行へのご意見について

定期総会において、紙発行に対して異議あり（予算 40 万、企業広告の少なさについて）

Web 閲覧の不便さ、なるべく多くの会員に見て頂きたいとの思いから紙発行は継続する
企業広告を集めることの難しさにもご理解をいただきたい

第 2 回 令和 3 年 10 月 1 日（金） Zoom によるオンライン開催

報告事項

《総務》

・ 会員の動向 456 名（入会 21 名） 令和 3 年 9 月 30 日現在

《企画》

・ コロナ禍の現状を鑑み、今年度の「検査と健康展」は中止（企画書は提出済み）

《学術》

【終了した研修会】

・ 8 月 1 日（日）	生物化学分析部門研修会①	参加者 51 名
・ 8 月 29 日（日）	臨床血液部門研修会①	参加者 89 名
・ 9 月 4 日（土）	臨床微生物・染色体遺伝子部門研修会	参加者 21 名
・ 9 月 7 日（火）	臨床生理部門研修会	参加者 43 名
・ 9 月 18 日（土）	臨床一般部門研修会	参加者 41 名
・ 9 月 19 日（日）	臨床血液部門研修会②	参加者 70 名

【予定されている研修会】

・ 10 月 31 日（日）	中四国支部輸血細胞治療部門研修会
・ 11 月 14 日（日）	生物化学分析部門研修会②

《西部》

・ 浜田市健康福祉フェスティバルは開催中止

《会長》

・ 世界アルツハイマー月間事業について

HP をオレンジ色（宍道湖夕景）にチェンジした。日臨技からも好評

10 月になったので現在は元通りの HP へ

審議事項

1. タスク・シフト／シェアに関する厚生労働大臣指定講習会について

承認

・ 基礎講習受講済者（9 月 18 日現在） 全国 1095 名

（9 月 24 日現在） 島根 14 名（うち理事 8 名）

未受講の理事は早めに受講するよう依頼

- ・実務者講習会 10月10日 岡山県で開催 島根県から4名参加
- ・島根県実技講習会 年度内に1回目開催を目指す
1回60名定員、早めに開催予定を通知し受講を促す
- ・実務委員用運営マニュアルを理事へ送付済、各自確認依頼
- ・実務者用動画も公開済、各自視聴依頼
- ・実技講習会企画時の留意点等も確認の上、企画すること

2. 臨地実習指導者講習会について 承認

実習施設 現在は2施設 当面、1施設につき1名の受講が可能
島根大学 新田江里氏が10月31日に受講（web）予定

3. 島臨技役員改選について

- ・まず次期役員について継続意向調査を行う予定
- ・役員が松江日赤、島根大学、県立中央病院に集中、固定されている傾向にある
- ・会員が6名以上いる施設すべてを対象に理事選出を考えてもよいのではないか？
- ・会長、事務局長、経理が同施設から出ているのは技師会組織としてよくないのでは？
- ・理事にしても学術部門長にしても、各施設にもっと協力を求める必要があるのでは？
- ・会員数が多いことを理由に複数名選出を依頼されるのは違うのではないかと？
- ・打診ではなく、各施設から1名ずつは選出して頂くことも必要ではないかと？

4. 役員推薦委員について （保留分も含め、後日決定）

青山 真理 氏	松江赤十字病院
和田 進 氏	益田赤十字病院
馬庭 祥平 氏	島根県済生会江津総合病院
足立絵里加 氏	島根大学医学部附属病院
公田 幸子 氏	島根県立中央病院
佐藤 悦子 氏	雲南市立病院

5. 災害対策マニュアルについて 承認

11月25日説明会 各県2名参加 荒木副会長、吉岡理事 に依頼
WEB講習は後日オンデマンド配信される予定であるので、理事全員の受講を依頼

6. 品質保証施設認証制度について 2022年6月から

全施設が認定を受けてもらうのが理想

7. 「新人研修会」及び「新年賀会」の開催の有無について 承認

意見) 新人研修会だけでも開催してはどうか（対象者は70名程度）
開催に当たっては感染対策を考えると内容は検討が必要か？
新年賀会は控えるべきか？
新人研修の趣旨を考えるとWEB開催は意味がないか？

結論) 新人研修会は時期を見て開催を検討
新年賀会は今年度も中止

その他

- ・ COVID19 抗原キットが薬局販売される
- ・ 精度管理報告会、島根医学検査学会
Web で開催の方向で検討。4 月以降か
同日開催か？別日開催か？ → 別日開催を希望（1 日 WEB の前に座るのは大変）
Zoom では配信形式も可能
企画担当の持ち回り、運営方針に関しては今後要検討
- ・ Zoom 10 月から参加者 500 名対応可

第 3 回 令和 4 年 3 月 18 日（金） Zoom によるオンライン開催

報告事項

《総務》

- ・ 会員の動向 452 名（入会 23 名） 令和 4 年 3 月 16 日現在

《企画》

報告事項なし

《学術》

【終了した研修会】

- | | | |
|----------------|--------------|----------|
| ・ 11 月 14 日（日） | 生物化学分析部門研修会② | 参加者 57 名 |
| ・ 11 月 28 日（日） | 臨床血液部門研修会③ | 参加者 53 名 |
| ・ 1 月 16 日（日） | 施設代表者会議 | 参加者 36 名 |
| ・ 1 月 30 日（日） | 臨床血液部門研修会④ | 参加者 55 名 |
| ・ 2 月 26 日（土） | 臨床一般部門研修会② | 参加者 28 名 |
| ・ 2 月 27 日（日） | 輸血細胞治療部門研修会 | 参加者 66 名 |

島根医学検査の進捗状況：査読まで終了（8 演題）

「日臨技生涯教育推進研修会」に該当する研修会が 13 件開催された
コロナ禍によりオンライン、参加費未徴収ではあったが、県外からの参加者も多かったため補助金が例年より増大した

《西部》

報告事項なし

《会長》

報告事項なし

審議事項

1. 総会について

承認

- 開催形式 Web 開催
 - 日程 2022 年 5 月 29 日（日）
 - 議長 松江日赤、書記：島根大学 から選出を検討
 - 議案書 （経過報告、活動報告の提出〆切） 4 月 28 日（金）までに提出要請
 - 役員改選（役員および部門員の状況）
- ・ 役員はほぼ決定 役職については今後三役で検討する

2. 災害マニュアルについて 承認

- ・荒木副会長、吉岡西部地区長の報告
- ・昨年研修会あり、県単位のマニュアルを作成することになった
- ・荒木副会長が記載できるところは記載し、マニュアル案を作成中
- ・決めなければならないことも多々あり

後ほど資料をメールで送付 → 検討しながら今後マニュアルを完成させていく

3. タスク・シフト／シェアに関する厚生労働大臣指定講習会について 承認

第1回 3月20日(日) 松江赤十字病院にて開催 前日(19日)14:00から準備
(県立大学の看護教員が当日見学予定、今後協力いただける可能性あり)

～ ～ ～ 今後の予定 ～ ～ ～

第2回 8月28日(日) 松江赤十字病院にて準備中 医師・会場は調整済

第3回 令和5年1月 島根県立大学出雲キャンパスにて準備中

各施設において基礎講習を早めに受講するよう依頼

4. 「新型コロナ対策ガイドライン」の見直しについて 承認

ガイドライン作成時と状況が異なってきているため、見直しが必要
錦織会長が素案を作成 → 企画部で検討

5. 令和3年度決算案について 承認

6. 令和4年度予算案について 承認

令和3年度に臨時で4,000円にした県会費を令和4年度より通常の7,000円とする
(4000円への減額は令和3年度の1年限りであることは各施設へ周知済み)

第4回 令和4年4月10日(日) Zoomによるオンライン開催

報告事項

《総務》

- ・会員の動向 446名(入会6名) 令和4年4月6日現在

《企画》

報告事項なし

《学術》

- ・新年度学術部門員報告 別添資料
- ・島根医学検査は現在校正中 企業広告は5～6社の予定

《西部》

報告事項無し

《会長》

報告事項無し

審議事項

1. 令和3年度 決算について 承認

令和4年4月4日 令和3年度会計報告の監査終了

2. 名誉会員について

表彰規定に則り下記の者を推薦 承認

【 北尾 政光 氏 】

- ・昭和57年～ システム研究班 班長等
- ・第25回、34回 中四国支部医学検査学会 経理局長
- ・第55回 日本医学検査学会 事務局長
- ・平成24～27年 島臨技 副会長
- ・平成27～29年 島臨技 会長

総会で最終承認を得たのち名誉会員と認定する

3. 日臨技無料職業紹介所の廃止並びに求人情報のリンクについて 承認

- ・島臨技 HP 求人掲示板へのリンク貼り付けを承諾する
- ・島臨技求人掲示板の掲載期間を定めておいた方が良くはないか
→ 求人情報は一年経過後削除する事とし、HPの注意事項に明記する

4. 新役員報告 別添資料

- ・総会までに三役で新役員の役付の検討を行う
- ・総会にて新役員を承認後、理事会にて役を正式決定する

その他

- ・集合研修における新型コロナウイルスガイドラインの改定について
素案への意見はなかったため、企画へその旨を報告する
- ・災害対応マニュアルについて
決めなければならないことが多々あるため、集合形式で検討
- ・島根医学検査学会は終了
オンライン形式は事前リハーサルが必要
発表への質問はチャットや挙手だと運営側がわかりづらい。声を出してもらおう方が良いのでは？今後の検討課題
- ・第2回 タスク・シフト/シェアに関する厚生労働大臣指定講習会について
8月28日(日) 松江赤十字病院で開催
今後の西部開催を見越して、西部地区の会員にも参加をお願いする
第2回からは 島根大学 安井亘氏 が実務委員に参加

2 企画部

新型コロナ感染拡大予防のため「検査と健康展」は中止
タスク・シフト/シェアに関する厚生労働大臣指定講習会開催準備に参加

3 西部地区

新型コロナ感染拡大予防のためイベント等は全て中止

4 広報部

島臨技ニュース

No. 162 (令和 3年 7月)

研修会報告、理事会報告、会員紹介、元会長 槇野長蔵氏を偲んで、他 (P 12)

No. 163

(令和 4年 1月)

年頭の挨拶、各種報告、スポット紹介、検査技師の森、賛助会員紹介、他 (P 28)

5 学術部

1) 学術各賞の表彰について

なし

2) 精度管理事業

参加施設 39 施設

3) 研修会

(1) 生物化学分析部門研修会

日 時 令和 3年 8月 1日 (日) 10 : 00 ~ 11 : 00

形 式 Zoom によるオンライン方式

内 容 「COVID19 の最新情報と抗体検査の意義」

講師：アボットジャパン合同会社診断薬機器事業部学術情報室マネージャー、
獨協医科大学医学部泌尿器科講師 村上 聡 先生

参加人数 51 名

(2) 臨床血液部門研修会

日 時 令和 3年 8月 29日 (日) 10 : 00 ~ 11 : 30

形 式 Zoom によるオンライン方式

内 容 「凝固検査 (PT、APTT、フィブリノゲン) の基礎」

「凝固検査で遭遇する異常値」

講師：積水メディカル株式会社 事業統括部 検査事業部

参加人数 89名

(3) 臨床微生物・染色体遺伝子部門研修会

日時 令和3年9月4日(日) 10:00～11:00

形式 Web方式

内容 「SARS-CoV2 遺伝子検査の概要とPCR装置の有効活用」

講師：ダイアグノスティックス営業統括本部

マイクロバイオロジー統括部 営業推進部 叶 辰宜 先生

参加人数 21名

(4) 臨床生理部門研修会

日時 令和3年9月7日(火) 19:00～20:00

形式 Web方式

内容 「島根県 心エコーレクチャーミーティング」

座長：島根大学医学部内科学講座内科学第四 教授 田邊 一明 先生

演題1 「トランスサイレチン型心アミロイドーシスの一例」

講師：島根大学医学部内科学講座内科学第四 助教 山口 一人 先生

演題2 「心アミロイドーシスの診断のポイント」

講師：丸子中央病院 内科 小山 潤 先生

参加人数 43名

(5) 臨床一般部門研修会

日時 令和3年9月18日(土) 14:30～17:00

形式 Zoomによるオンライン方式

内容 「アークレイ製品の御紹介と情報提供」

「尿定性検査の基礎、測定時の注意点について」

「尿中赤血球・白血球について(赤血球形態を中心に)」

講師：アークレイマーケティング部本部 学術推進チーム 主任

茂田 学 先生

参加人数 41名

(6) 第2回 臨床血液部門研修会

日時 令和3年9月19日(日) 10:00～11:30

形式 Zoomによるオンライン方式

内容 血液形態検査標準化の動向

「血球形態標準化合同委員会の最近の動向(日本臨床衛生検査技師会・日本検査血液学会)一骨髄幼若顆粒球・赤芽球の分類基準の改訂および細胞分類一致率の向上にむけて一」

講師：株式会社ビー・エム・エル総合研究所第四検査部血液学課

坂場 幸治 先生

参加人数 71名

(7) 第2回 生物化学分析部門研修会

日時 令和3年11月14日(日) 10:00～11:00

形式 Zoomによるオンライン方式

内容 「TSH ハーモナイゼーションと甲状腺機能検査」

講師：シーメンスヘルスケア・ダイアグノスティックス株式会社

荻原 貴裕 先生

参加人数 57名

(8) 第3回 臨床血液部門研修会

日時 令和3年11月28日(日) 10:00～11:30

形式 Zoomによるオンライン方式

内容 「凝固検査検体の取扱いに関するコンセンサス」

「ラテックス試薬の基礎 (FDP、D-ダイマーを中心に)」

講師：積水メディカル株式会社 事業統括部 検査事業部

カスタマーサポートセンター 学術企画グループ

兼本 勝利 先生

参加人数 55名

(9) 施設代表者会議

日時 令和4年1月16日(日) 10:00～11:00

形式 Zoomによるオンライン方式

内容 ①会長あいさつ

会長 錦織 昌明 (松江赤十字病院)

②タスク・シフト/シェアに関する厚生労働大臣指定講習会受講について

実務責任者 高野 智晴 (松江赤十字病院)

③島根県臨床検査技師会理事改選における役員選出について

役員推薦委員長 青山 真理 (松江赤十字病院)

④学術部門改選における部門員選出について

学術担当副会長 荒木 剛 (島根大学医学部附属病院)

⑤技師連盟への加入について等

技師連盟島根県支部長 青戸 正樹 (松江赤十字病院)

参加人数 36名

(10) 第4回 臨床血液部門研修会

日時 令和4年1月30日(日) 10:00～11:00

形式 Zoomによるオンライン方式

内容 「採血手技が血液検査の測定値に与える影響」

「DIC と DVT の検査」

講師：積水メディカル株式会社 事業統括部 検査事業部
カスタマーサポートセンター 学術企画グループ

兼本 勝利 先生

参加人数 86 名

(11) 第 2 回 臨床一般部門研修会

日 時 令和 4 年 2 月 26 日 (土) 14 : 00 ~ 16 : 30

形 式 Zoom によるオンライン方式

内 容 「アークレイ製品の御紹介と情報提供」

「尿検査の精度管理について」

「腎疾患、CKD・DKD について」

講師：アークレイマーケティング部本部 学術推進チーム 主任

茂田 学 先生

参加人数 28 名

(12) 輸血細胞治療部門研修会

日 時 令和 4 年 2 月 27 日 (日) 10 : 00 ~ 11 : 30

形 式 Zoom によるオンライン方式

内 容 講演 1 「輸血検査の基礎 -事例から考える-」

講師：バイオ・ラッド ラボラトリーズ株式会社カスタマーケア本部

カスタマーサポート部 柿沼 幸利 先生

講演 2 「精度管理調査報告会」

講師：輸血細胞治療部門精度管理委員

参加人数 66 名

令和 3 年度 生涯教育一覽表

開催日時	科目	行事名	参加人数	点数
令和 3 年				
4月 11日	臨床検査の基礎	精度管理報告会	131名	基礎20
6月 13日	組織活動	定期総会	109名	基礎30
8月 1日	検体検査	生物化学分析部門研修会	51名	専門20
8月 29日	検体検査	臨床血液部門研修会	89名	専門20
9月 4日	検体検査	臨床微生物・染色体遺伝子部門研修会	21名	専門20
9月 7日	生体検査	心エコーレクチャーミーティング	43名	専門20
9月 18日	検体検査	臨床一般部門研修会	41名	専門20
9月 19日	検体検査	第2回 臨床血液部門研修会	70名	専門20
11月 14日	検体検査	第2回 生物化学分析部門研修会	56名	専門20
11月 28日	検体検査	第3回 臨床血液部門研修会	53名	専門20
令和 4 年				
1月 16日	管理運営	施設代表者会議	36名	基礎20
1月 30日	検体検査	第4回 臨床血液部門研修会	86名	専門20
2月 26日	検体検査	第2回 臨床一般部門研修会	28名	専門20
2月 27日	検体検査	輸血細胞治療部門研修会	62名	専門20

令和3年度 名誉会員、参与及び顧問（順不同、敬称略）

顧問	木谷光博	益田赤十字病院
顧問	小阪真二	島根県立中央病院
顧問	矢野彰三	島根大学医学部附属病院
顧問	入江隆	松江市立病院
顧問	中澤芳夫	島根県済生会江津総合病院
顧問	大居慎治	松江赤十字病院
名誉会員	榎野長蔵	自宅会員
名誉会員	岡喜之助	自宅会員
名誉会員	下瀬洋一	自宅会員
参与	下瀬洋一	自宅会員

令和3年度 委員会委員

1 表彰（賞・罰）審査委員会

委員長	新田江里	島根大学医学部附属病院
委員	糸賀真理	島根県立中央病院
	青山真理	松江赤十字病院
	高野智晴	松江赤十字病院

2 役員推薦委員会

委員長	青山真理	松江赤十字病院
委員	馬庭祥平	島根県済生会江津総合病院
	公田幸子	島根県立中央病院
	足立絵里加	島根大学医学部附属病院
	和田進	益田赤十字病院
	佐藤悦子	雲南市立病院

3 専門委員会

1) 「島根医学検査」編集委員会

委員長	兒玉るみ	島根大学医学部附属病院
委員	豊田健治	益田市医師会臨床検査センター
	糸原奈奈	NHO松江医療センター
	荒木剛	島根大学医学部附属病院

4 部門委員会

1) 学術部

部門別研究班

生物化学分析部門

部門長	糸原智生	松江赤十字病院
副部門長	岡崎亮太	島根大学医学部附属病院
副部門長	恒松巧	島根県済生会江津総合病院

臨床一般部門

部門長	原康洋	松江赤十字病院
副部門長	石倉純子	松江生協病院

副部門長	横田 友理子	公立邑智病院
臨床血液部門		
部門長	勝部 瑞穂	出雲市立総合医療センター
副部門長	古瀬 裕彦	松江生協病院
副部門長	柳 楽 昌宏	大田市立病院
臨床微生物・染色体遺伝子部門		
部門長	樋野 智	松江赤十字病院
副部門長	竹内 志津枝	島根大学医学部附属病院
副部門長	山下 大貴	NHO 浜田医療センター
輸血細胞治療部門		
部門長	石原 智子	島根大学医学部附属病院
副部門長	糸賀 真人	島根県立中央病院
副部門長	石川 佑介	島根県済生会江津総合病院
病理細胞部門		
部門長	長崎 雅幸	島根大学医学部附属病院
副部門長	片寄 充男	島根県立中央病院
副部門長	岡本 幸子	益田赤十字病院
臨床生理部門		
部門長	福間 麻子	島根大学医学部附属病院
副部門長	原 法子	島根県立中央病院
副部門長	下垣 真紀子	島根県立中央病院
副部門長	門永 陽子	松江市立病院
副部門長	三浦 久枝	益田赤十字病院
臨床検査総合部門		
部門長	永田 智紀	島根県立中央病院
副部門長	小池 尚司	安来市立病院
副部門長	吉岡 豊道	益田赤十字病院
精度管理委員会		
会長	錦 織 昌明	松江赤十字病院
責任者	兒玉 るみ	島根大学医学部附属病院
委員長	青山 裕一	出雲徳洲会病院
副委員長	野畑 亜希子	島根大学医学部附属病院
学識経験者	矢野 彰三	島根大学医学部附属病院 検査部長

精度管理実務委員会

委 員			
	糸原	智生	松江赤十字病院
	岡崎	亮太	島根大学医学部附属病院
	恒松	巧	島根県済生会江津総合病院
	大野	元嗣	松江生協病院
	柳楽	治希	松江赤十字病院
	大國	翼	島根大学医学部附属病院
	汐田	晋也	島根県立中央病院メディエンス検査室
	原	康洋	松江赤十字病院
	石倉	純子	松江生協病院
	横田	友理子	公立邑智病院
	勝部	瑞穂	出雲市立総合医療センター
	古瀬	裕彦	松江生協病院
	柳楽	昌宏	大田市立病院
	足立	絵里加	島根大学医学部附属病院
	今岡	まみ	松江赤十字病院
	別府	凌成	NHO浜田医療センター
	樋野	智	松江赤十字病院
	竹内	志津枝	島根大学医学部附属病院
	山下	大貴	NHO浜田医療センター
	石原	智子	島根大学医学部附属病院
	糸賀	真人	島根県立中央病院
	石川	佑介	島根県済生会江津総合病院
	藤原	宇志	島根大学医学部附属病院
	長崎	雅幸	島根大学医学部附属病院
	片寄	充男	島根県立中央病院
	岡本	幸子	益田赤十字病院
	吉原	孝紀	松江市立病院
	福間	麻子	島根大学医学部附属病院
	下垣	真紀子	島根県立中央病院
	三浦	久枝	益田赤十字病院
	原	法子	島根県立中央病院
	門永	陽子	松江市立病院

(順不同)

2) 広報部

「島臨技ニュース」編集委員会

委員長	藤原	誠	雲南市立病院
委員	杉原	辰哉	松江市立病院

5 関連各種委員および役員

中国四国支部臨床検査技師会

部門連絡責任者学術担当	兒玉	るみ	島根大学医学部附属病院
-------------	----	----	-------------

部門連絡責任者

生物化学分析部門	糸原	智生	松江赤十字病院
臨床一般部門	原	康洋	松江赤十字病院
臨床血液部門	勝部	瑞穂	出雲市立総合医療センター
臨床微生物・染色体遺伝子部門	樋野	智	松江赤十字病院
輸血細胞治療部門	石原	智子	島根大学医学部附属病院
病理細胞部門	長崎	雅幸	島根大学医学部附属病院
臨床生理部門	福間	麻子	島根大学医学部附属病院
臨床検査総合部門	永田	智紀	島根県立中央病院

(順不同)

医学検査学会発表者

1. 第70回日本医学検査学会

Web開催（オンデマンド開催） 令和3年5月15日（土）～6月14日（月）

【ワークショップ】

「Pj再検基準を用いた自施設での運用経験から目視再検基準の設定について」

石原 智子 島根大学医学部附属病院

一般演題発表

「島根県における肝炎医療コーディネーターとしての職種専門性を越えた取り組み」

松田 親史 島根大学医学部附属病院

「術中脊髄モニタリングでFree run EMG波形異常の経時的な変化を観察できた1例」

杉原 辰哉 松江市立病院

2. 2021（R3）年度中四国支部医学検査学会（第54回）

Web開催（オンデマンド開催） 令和3年12月3日（金）～12月26日（日）

【シンポジウム】

「呼吸機能検査実践のポイント」

安井 亘 島根大学医学部附属病院

「中規模病院におけるAMRの取り組みについて」

佐藤 瑞紀 NHO 浜田医療センター

「抽出不良」で諦めない!!死角をなくすテクニック」

多久和 昇吾 島根県立中央病院

一般演題発表

「脳波検査における技術面の精度管理の取り組み」

小松 文香 島根大学医学部附属病院

シンポジウム座長

生理	奥井 富美子	松江赤十字病院
生物化学	糸原 智生	松江赤十字病院
輸血・細胞治療	大井 幸子	益田赤十字病院

3. 第9回島根医学検査学会

Web 開催 R4年4月10日(日)

一般演題発表

「新型コロナウイルスワクチン接種後に重症たこつぼ型心筋症を呈した一例」

梶谷 凌也 松江赤十字病院

「心臓腫瘍を認めた悪性リンパ腫の一症例」

勝部 早紀 松江赤十字病院

「Plasmablastic lymphoma 診断に向けての細胞診からのアプローチ」

河上 衣舞妃 NHO 浜田医療センター

「*Schaalia radingae* による乳腺炎の一例」

奥村 優 NHO 浜田医療センター

「複合抗体を持つD陰性患者への赤血球製剤準備に苦慮した一症例」

成相 陽香 島根県立中央病院

「CRE (カルバペネム耐性腸内細菌科細菌) における薬剤感受性検査の比較検討」

石原 慧太郎 LSI メディエンス 島根県立中央病院ブランチ

「当院で経験したSFTS症例の検討」

山谷 由香里 益田赤十字病院

「新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) に対する当院の検査体制」

山谷 由香里 益田赤十字病院

令和4年度 一般会計予算案

款	項	目	令和3年度 予算額	令和4年度 予算額	増減	備考
会費収入			2,660,000	3,950,000	△1,290,000	
	会費収入	会員会費	1,800,000	3,150,000	△1,350,000	7000×450名
		賛助会員会費	860,000	800,000	60,000	40社
事業収入			630,000	880,000	△250,000	
	事業収入	広告収入	250,000	150,000	100,000	島根医学検査、ニュース
		研修会参加費	0	0	0	
		精度管理参加費	230,000	230,000	0	41施設
		助成金	150,000	500,000	△350,000	日臨技助成金
雑収入	雑収入	雑収入	10,000	10,000	0	預金利息、文献使用料
繰越収入	繰越収入	前年度繰越金	5,000,000	4,500,000	500,000	
収入合計			8,300,000	9,340,000	△1,040,000	

支出の部

款	項	目	令和3年度 予算額	令和4年度 予算額	増減	備考
事務費			3,360,000	3,310,000	50,000	
	庶務費		2,380,000	2,430,000	△50,000	
		役員報酬	300,000	300,000	0	
		人件費	1,200,000	1,300,000	△100,000	事務職員人件費
		消耗品費	300,000	250,000	50,000	ラベル、封筒、コピー用紙他
		通信費	300,000	200,000	100,000	電話、インターネット、切手他
		備品費	230,000	230,000	0	コピー機リース料
		管理諸費	50,000	150,000	△100,000	支払い手数料、登記諸費用
	会議費		430,000	330,000	100,000	
		会議費	30,000	30,000	0	理事会他
		旅費交通費	400,000	300,000	100,000	
	事務所費	事務所費	500,000	500,000	0	事務所家賃、光熱水道費
	雑費	雑費	50,000	50,000	0	
事業費			3,090,000	3,050,000	40,000	
	総会費	総会費	140,000	150,000	△10,000	議案集、会場費、講師料他
	精度管理費	精度管理費	700,000	750,000	△50,000	試料代、発送料、実務委員日当
	学術活動費		1,000,000	900,000	100,000	
		学術活動費	600,000	400,000	200,000	研修会、県学会
		会誌	350,000	500,000	△150,000	島根医学検査
	広報活動費		850,000	850,000	0	
		島臨技ニュース	400,000	400,000	0	年2回発行
		広報活動費	150,000	150,000	0	HP維持管理費
		地域活動費	300,000	300,000	0	検査と健康展、健康フェスティバル、他
	組織強化費		400,000	400,000	0	
		厚生費	300,000	300,000	0	会員慶弔費、新年賀会
		組織強化費	100,000	100,000	0	
子備費	予備費	予備費	400,000	400,000	0	
支出合計			6,850,000	6,760,000	90,000	

区分	令和3年度 予算額	令和4年度 予算額	増減	備考
収入額	8,300,000	9,340,000	△1,040,000	
支出額	6,850,000	6,760,000	90,000	
差引額	1,450,000	2,580,000	△1,130,000	

令和4・5年度 学術部門長・副部門長

生物化学分析部門

部門長	糸原 智生	松江赤十字病院
副部門長	岡崎 亮太	島根大学医学部附属病院
副部門長	恒松 巧	島根県済生会江津総合病院

臨床一般部門

部門長	石倉 純子	松江生協病院
副部門長	須山 真由美	雲南市立病院
副部門長	原 康洋	松江赤十字病院

臨床血液部門

部門長	勝部 瑞穂	出雲市立総合医療センター
副部門長	小林 芳友	島根県立中央病院メディエンス検査室
副部門長	別府 凌成	NHO 浜田医療センター

臨床微生物・染色体遺伝子部門

部門長	戸田 隆士	島根県環境保健公社
副部門長	川島 史祥	島根大学医学部附属病院
副部門長	山谷 由香里	益田赤十字病院

輸血細胞治療部門

部門長	石原 智子	島根大学医学部附属病院
副部門長	糸賀 真人	島根県立中央病院
副部門長	石川 佑介	島根県済生会江津総合病院

病理細胞部門

部門長	長崎 雅幸	島根大学医学部附属病院
副部門長	片寄 充男	島根県立中央病院
副部門長	渡辺 拓也	益田赤十字病院

臨床生理部門

部門長	下垣 真紀子	島根県立中央病院
副部門長	原 法子	島根県立中央病院
副部門長	福岡 麻子	島根大学医学部附属病院
副部門長	門永 陽子	松江市立病院
副部門長	大田 桃佳	NHO 浜田医療センター

臨床検査総合部門

部門長	永田 智紀	島根県立中央病院
副部門長	小池 尚司	安来市立病院
副部門長	吉岡 豊道	益田赤十字病院

【 精度管理委員会 】

委員長	青山 裕一	出雲徳洲会病院
副委員長	野畑 亜希子	島根大学医学部附属病院

令和3年度 賛助会員

- 1 シスメックス株式会社
- 2 デンカ生研株式会社
- 3 ニットーボーメディカル株式会社
- 4 シーメンスヘルスケア・ダイアグノスティクス株式会社
- 5 アークレイマーケティング株式会社
- 6 フクダ電子岡山販売株式会社
- 7 ロシュ・ダイアグノスティックス株式会社
- 8 オーソ・クリニカル・ダイアグノスティックス株式会社
- 9 株式会社テクノメディカ
- 10 栄研化学株式会社
- 11 株式会社アキメディ
- 12 H.Uフロンティア株式会社
- 13 株式会社カイノス
- 14 株式会社宮田薬品
- 15 ビオメリュー・ジャパン株式会社
- 16 株式会社日立ハイテク
- 17 株式会社アイディエス
- 18 極東製薬工業株式会社
- 19 ティーエスアルフレッサ株式会社
- 20 積水メディカル株式会社
- 21 ラジオメーター株式会社
- 22 武藤化学株式会社
- 23 株式会社エイアンドティー
- 24 富士フイルム和光純薬株式会社
- 25 チェスト株式会社
- 26 ベックマン・コールター株式会社
- 27 アボットジャパン株式会社
- 28 小西医療器株式会社
- 29 関東化学株式会社
- 30 株式会社 ビー・エム・エル
- 31 メディカルシステム株式会社
- 32 東ソー株式会社
- 33 有限会社友田大洋堂
- 34 シスメックスCAN株式会社
- 35 株式会社福山臨床検査センター
- 36 株式会社シノテスト
- 37 株式会社エバルス
- 38 バイオ・ラッド ラボラトリーズ株式会社
- 39 日本電子株式会社
- 40 株式会社LSIメディエンス
- 41 ミナリスメディカル株式会社

以上41社 (順不同)

会員状況（令和4年3月31日現在）

一般会員	450名
賛助会員	41社

例年会員の異動状況とお名前を掲載しておりましたが、個人情報保護の為此らについても掲載を差し控えさせていただきます。ご理解の程、よろしくお願いいたします。

一般社団法人 島根県臨床検査技師会
令和4年度 定期総会議案書

令和4年5月13日 発行

発行者 錦織 昌明

発行所 一般社団法人 島根県臨床検査技師会

〒690-0825 島根県松江市学園2丁目23-15

キャステロット102号

TEL (0852) 20-2922 FAX (0852) 20-2933

E-mail : shimane-amt@sanmedia.or.jp

URL : <https://shimane-amt.org/>

編集 錦織 昌明 赤沼 佳子 藤原 圭子